

日々ぼちぼち



発行：〒714-1202 岡山県小田郡矢掛町小林27番地
(株)かむら堂 小規模多機能ホームぼちぼち
TEL：0866-82-2277 FAX：0866-82-2279

2014.2.1発行
第18号

このニュースレターは、(株)かむら堂 小規模多機能ホームぼちぼち とご縁のある方に贈ります。

わたしのぼちぼち

みなさんこんにちは。
とうとうやって来ましたよ。

「わたしのつぶやき」レというよ
り「わたしの歴史」コーナーが。
それでは、ゆっくりとひもとい
いきませね。私と桐岡光明
は昭和四十六年(一九七一年
)十一月に岡山県真庭郡新庄
村に生まれます。皆さんと存
じかどうか、新庄村は岡山県
県北に位置し、トンネルを抜
れば鳥取県です。私が生まれ
た当時の人口は約一四〇〇人
で主な産業は林業と農業で、
「のどか」と言うか田舎村です
かね。なもんで、お産と言っ
たら、サー大変。村の中にある
は内科の診療所のみ。一番近い
産婆さんがいる所まで車で約
三〇分。私は、落合町(今は真
庭市)にある落合病院で生ま
れたもので、車で約一時間の
所にあります。母親いわく「あ
んなあゝ産むだけで死ぬかと
思おたわあ」と。それでも、
母子ともに元気に退院し、私
はすくすくと言うよりは、田舎
の空気がたいてのんびりと育
てきました。
次号では、いよいよ小学校入
学です。

(桐岡光明)



スキャンのぼちぼち

このコーナー、「何を書けばいいん
ですか？」とたずねたところ、「何
も好きなことを好きに書いてい
よ」とのことでした。なので、考
えました。私の好きなもの。色々
あります。今回は「本」にしま
す。小さい頃から本を読むのが
好きでした。小学生の頃、夢中
で読んだのは「千夜一夜物語」
でした。そうです。「開け、ゴ
マ」のマリ
ババのお話や、ランパの精霊が
出てくるアラジンのお話、シン
ドバットの冒険。自分の子ども
が小さい頃、読み聞かせをして、
再読しましたが、やっぱり面白
かったです。でも、一番好きなのは、
「ミステリー」のジャンルです。最
近読んで面白かったものは、月
9ドラマにもなった、「ビバリ
ア古書堂の事件手帳」です。主
人公の古書店の女店主と、本
が読めない体質のアルバ
イトくんが、古書にまつわる
謎を解いていくのですが、伏線
がわかりやすかったり、想像と
は違った切り口でどんどん返
しがあったり、二人の恋模様
が気になったりと、楽しめる
作品です。まだまだ続いてい
るので、新刊が出るのが待ち
遠しいです。

この頃は、本のほうから私を
呼んでくれるので、本屋めぐり
が楽しみです。
(藤原 みどり)

(藤原 みどり)

今月の予定

ぼちぼちニュース

今月の予定です。どなたでも自由に
ご参加・見学いただけますので、お
気軽にお越し下さい。何もイベ
ントが等がなくともお越し頂
いて結構です。おいしいコー
ヒーをお出しします!

写真を見て、何をしているところか
わかりますか?そうそう、焼き芋を
焼いています。ぢゃなくて(汗)、
とってもコンパクトな「ぼちぼ
ち」でのとんど焼きの風景です。
正月のお飾りを燃やして、竹の
先にみかんを挟んで「焼き無
病息災をお祈りしました。もち
ろん、焼いたみかんはみんな
でおいしくいただきましたよ。
(村上)

2月3日、4日 節分
2月14日 誕生日会



認知症

ワンポイントアドバイス

四、介護保険など、サービスを積極的に利用しよう。

介護保険など、サービスを積極的に利用するのは当然のこと。家族だけで認知症の人を介護することはできません。サービスは「家族の息抜き」だけでなく、本人が口の介護を受けたり社会に接する大事な機会です。

五、サービスの質を見分ける目を持つ。

介護保険サービスは、利用者や家族が選択できるのが利点。質の高いサービスを選択する目が必要です。また、トラブルがあったときは、泣き寝入りせず、冷静に訴える姿勢を持ちましょう。

六、経験者は知恵の宝庫。いつでも気軽に相談を。

介護経験者が培ってきた知識や経験は、社会資源の一つ。一人で抱え込まずに経験者に相談し、共感し合い、情報を交換することが、大きな支えになります。

七、今できることを知り、それを大切に。

知的機能が低下し、進行していくのが多くの認知症です。しかし、すべてが失われたわけではありません。失われた能力の回復を求めよう。残された能力を大切にしましょう。

次号に続く。

出典元：公益社団法人 認知症の人と家族の会



ぼちぼち奮闘記

山あり谷あり笑いあり

時は3月の半ば。しだいにポカポカと暖かくなり始める頃。棟梁に洗面所の棚の件の話しをさせてもらうと、早速、寸法を測り始め、あっといいう間に広告の裏面に図面を書いた。

「こがあんなんでえんじやろおがあ？」

このぐらいの棚なんかあっちゃう間に作ったらあ？！位の勢いである。棚のお願いをして、暫くの間は日曜日以外でも日中に板を持って来て寸法をとって帰ったり、自宅では倉庫(二の中に作業場があるのだが)で板を切ったり、カンナをかけたたりされていったのを、訪問に行った職員が見かけていた。棚の材料も揃い、そろそろ組み立てへと入っていった頃、まだ材料が無いとの事。

「何がいるんでえ？」
「赤土じゃあ？」
「あ・赤土？話を聞くと、洗面台と棚の隙間を、きめの細かい赤土とボンドで練ったもので埋めるらしい。」

「この山へ行き、あ？で採るの為、近くでもないとどうにか採取。」

「あ？でにあれも持ってかえるかあ？」

(次号へ続く。)

食べログ シーズン2

今回お邪魔したのは江良にある「手打ちうどん よし野」さんで、去年の十二月にオープンしたみたいですよ。訪れたのは土曜日の12時前で、入った時には人もまばらだったのですが、次から次へとお客さんが入って来られました。店内は細長い作りで約20人位は入れますかね。メニューなんですけど、ざるうどん350円、かけうどん350円、きつねうどん400円、肉うどん450円、各並の値段ですよ。

あと、きつね寿司とおにぎりがあり価格もリーズナブル。そして、注文してから約2分位で出て来ました。は・早い！今回はきつねうどん(大)とおにぎりを頂きました。特に揚げが大きいとかじゃない普通のきつねうどんなんですけど、出汁が美味しく、うどんも固くなく柔らかくもなくで、出汁とよくからんで美味しかったです。地元感満載で、途中から相席になったんですが、地元の方とお喋りしながらの食事もうまいですよ(^o^)



編集後記

「1月は行く、2月は逃げる、3月は去る」といわれるが、1月があっという間に行ってしまった。年頭に立てた計画も全然クリアできていないというのに。このままでは2月もあっという間に逃げていくであろう。そうならないように、気持ちを引き締めて1つ1つ確実に実行していかなければ。(汗) (村上)